

《 競技注意事項 》

1. 規則について

本大会は、2025年度日本陸上競技連盟競技規則及び大会申し合わせ事項による。

2. 競技場について

競技場の開門時刻 7:30 (予定)

競技場は、全天候舗装である。スパイクのピンの長さは9mm以下とする。ただし、走高跳、ジャベリックスローのピンの長さは12mm以下とする。これらのスパイクピンの直径は、先端が4mm以内、スパイクのピンの本数は11本以内とする。走路の保全と競技者の安全のため、WA競技規則TR5を厳守すること。

3. 練習について

練習は、競技役員の指示に従って、補助競技場内で行うこと。フィールド競技の練習は、現地での最終チェック後競技場内で行うことができる。特に、投てき練習は、競技役員の指示に従って、試技順に競技場内で行うこと。

最初の競技開始30分前まで主競技場を練習に開放する。その際、1～3レーンは周回練習、5～8レーンはスピード練習とする。(4レーンにはコーンを設置する。)ただし、7・8レーンはハードル練習とする。なお、競技役員及び競技者以外は、トラック・フィールドに立ち入らないこと。

※ フィールド種目の練習開始時刻は、競技役員の指示に従うこと。

※ 競技場・補助競技場以外のいかなる場所でも練習は禁止する。特に駐車場内での練習は厳禁。

4. 招集について

- ・招集は招集所(競技者係)において本人が受けること。その後現地で競技開始10分前に最終チェックを行う。
- ・招集場所は100mスタート地点付近のダッグアウト内に設ける。
- ・招集時刻は競技日程に記載された通りとする。招集時刻に遅れた者は欠場とみなし出場を認めない。
- ・女子棒高跳の招集は競技日程記載の時間に現地で行う。
- ・招集はアスリートビブス確認のため、必ずユニフォームを着用して受けること。
- ・2種目同時に出場する競技者は、予めその旨を本人または代理人が競技者係に申し出て「同時出場届」を受け取り、必要事項を記入のうえ提出する。

5. アスリートビブスについて

- ・アスリートビブスは、主催者が用意したままの状態(縦16cm、横24cm)で使用する。
- ・跳躍種目では、アスリートビブスを背または胸につけるだけでもよい。
- ・トラック種目の出場者は、招集所(競技者係)においてレーン番号の腰ナンバー標識を受け取り、右腰やや後方につけること。(4×100mRは第4走者のみ)
- ・腰ナンバー標識、特別ナンバーカード共に競技終了後は返却せず、各自で持ち帰ること。
- ・安全ピンは各自用意すること。
- ・アスリートビブスを紛失または忘れた者は本部にて再発行を受けること。(2枚1組500円で販売)自作のアスリートビブスは認めない。

6. トラック競技について

- ・予選の組・レーン順については主催者が抽選し、プログラムに記載する。
- ・予選ラウンドのある決勝のレーン順は、本部で抽選し、招集所に掲示する。(競技規則TR20.4)
- ・トラック競技は、すべて電気計時とする。
- ・同タイムの競技者及びチームについては、写真を細部(1/1000)まで読み取り優劣を判定する。判定できない場合は、同タイムの競技者及びチームの代表者によって抽選とする。
- ・U16男子110mHの高さは0.991m、インターバルは9.14mとする。
- ・U16女子100mHの高さは0.762m、インターバルは8.50mとする。

- ・記録会男子110mJHの高さは0.991m、インターバルは9.14mとする。
- ・記録会女子100mYHの高さは0.762m、インターバルは8.50mとする。
- ・記録会男子300mHの高さは0.914m、インターバルは35.0mとする。
- ・記録会女子300mHの高さは0.762m、インターバルは35.0mとする。
- ・トラック競技のスタートは、1回目の不正スタートで失格とする。

※スタート時の不適切行為に関しては、審判長によって警告(イエローカード)を与えられることがある。

7. リレー競技について

- ・リレー競技に出場するチームのユニフォームは同一チームと確認できるものとする。
- ・リレー競技のオーダー用紙は招集完了時刻の60分前までに提出すること。
また、オーダー用紙提出後も競技日程記載の招集時刻に4人そろって招集を受けること。

8. フィールド競技について

- ・フィールド競技の試技順は、主催者が抽選したプログラム記載の順番に従い行う。
- ・跳躍競技のバーの上げ方は、次のとおりである。(ただし、荒天の場合は別途指示する。)

種目	練習	バーの上げ方								
記録会高校 男子走高跳	1m45～	1m50	1m55	1m60	1m65	1m70	1m75	1m80	1m85	以後3cm
記録会高校 女子走高跳	1m30～	1m35	1m40	1m45	1m50	1m55	1m60			以後3cm
記録会U16 女子棒高跳	現地役員の指示に従う									

- ・走幅跳・三段跳の助走路は、(A)はトラック側、(B)はスタンド側とする。
- ・U16男子三段跳の踏切板の位置は砂場から10m00に設置する。
- ・U16女子三段跳の踏切板の位置は砂場から9m00に設置する。

9. 競技用具について

- ・競技に使用する器具は主催者が用意する。ただし、砲丸・円盤は、各自持参したものを、各競技開始90～60分前までに検査を受けて合格した物は、使用することができる。
※ターボジャブは主催者が準備したものしか使用できない。
- ・フィールド競技用シューズについてはWA競技規則TR5(シューズ)を適用する。
- ・記録会高校男子砲丸の重さは、6.000kg/5.000kgとする。
- ・記録会高校女子砲丸の重さは、4.000kg/2.721kgとする。
- ・記録会高校男子円盤の重さは、1.750kgとする。
- ・記録会高校女子円盤の重さは、1.000kgとする。
- ・U16男子円盤投の重さは、1.500kgとする。
- ・U16女子円盤投の重さは、1.000kgとする。

10. 抗議について

WA競技規則TR8にもとづき、競技者自身、もしくは代理人から審判長へ口頭でなされる。裁定に不服の場合は、競技者に代わる責任者が上訴申立書と預託金10,000円を総務に提出する。(抗議は正式アナウンス後30分以内とする。ただし、同一日に次のラウンドがある場合は、正式アナウンス後15分以内とする。)

11. 欠場について

各種目にやむをえず欠場をする者は、招集完了時刻までに「欠場届」を招集所(競技者係)に提出すること。「欠場届」は招集所で配布する。

12. 助力について

競技場内での助力は禁止とする。スタンドからの助言については、競技運営ならびに他の競技者の競技に妨げにならない範囲で認めるものとする。なお、文書をもって連絡することや、当該競技場所を勝手に離れることはできない。また、ビデオ・ラジオ・CD・MD・トランシーバー・携帯電話もしくは類

似の機器等を競技場内に持ち込むことができない。(競技規則TR6)

ただし、競技区域外で撮影された映像を見ることがや録画再生機器を手にするにはよいが、その際は場所などについて競技役員の指示に従うこと。

13. 警告について

- ・競技規則TR7の規定により、違反があった競技者やリレーチームには審判長よりイエローカード(以下YC)を提示し警告を与えることがある。
- ・2回のYCの提示を受けた競技者やリレーチームは当該種目について失格となる。

14. その他

- ・役員・選手以外のトラック・フィールドへ立ち入りを禁ずる。
- ・プログラムの訂正は、速やかに庶務係に申し出ること。
- ・使用した観覧席はきれいにし、ゴミは原則として持ち帰りとする。特に、持ち込んだダンボール紙等は必ず持ち帰ること。
- ・更衣室は、更衣のみに使用すること。各団体の控室のように占有して使用しないこと。
- ・正面スタンドに、横断幕を張らないこと。
- ・応援は、スタンド席で行う。(スタート時に声を出しての応援は禁止)
- ・スタンド最前列では、立っての応援は禁止とする。
- ・貴重品の管理は、各団体・個人で責任をもって行うこと。
- ・全競技終了後は、速やかに競技場外に移動し、ミーティング等は競技場外で行うこと。
- ・競技場外(公園内・駐車場・レストハウス)にテント・シート等で占有スペースを設置しないこと。

競技場隣接の横浜市民病院にあるコンビニを利用する場合は
「マスクの徹底」と静粛なマナー・言動をお願いします。